

日本物理教育学会 ニューズレター

2013年度日本物理教育学会 年会 第30回物理教育研究 大会について

2013年度日本物理教育学会年会・第30回物理教育研究大会を、下記の通り開催する予定です。詳細は学会誌61-1号もしくは大会ウェブサイトをご覧ください。

【大会ウェブサイト】<https://sites.google.com/site/pesj2013/>

【日程】2013年8月10日（土）～11日（日）

発表申込：2013年6月3日（月）～7月1日（月）

参加申込：2013年6月3日（月）～7月16日（火）

【場所】東北大学片平キャンパス（仙台市青葉区片平二丁目）

【大会テーマ】「震災の地で考える 物理の力」

【特別講演】堀込智之氏（宮城県石巻西高等学校）

山口克彦氏（福島大学共生システム工学類教授）

【備考】9日（金）午後に評議員会、理事・評議員懇談会

12日（月）「津波被災地視察バスツアー」（参加費3,000円）

【参加費】3,000円（懇親会（8月10日）参加は別途3,000円）

【実行委員長】須藤彰三（東北大学大学院理学研究科物理学専攻）

【問い合わせ先】藤原昇（宮城県宮城野高等学校）

大会メールアドレス：[pesj2013\(at\)pesj.jp](mailto:pesj2013(at)pesj.jp)

((at)は@に直してください)

物理基礎の実施に関するアンケート調査のお願い（再掲）

日本物理教育学会は、高等学校における物理基礎の実施について重大な関心を持っており、教育課程検討委員会を新たに発足させて検討を開始することにしました。つきましては、会員および支部会員、また学会と連携できる研究会組織の構成員を対象に、物理基礎の実施に関するアンケート調査を行うことになりました。高校関連以外の機関に所属されている方につきましても、今回の学習指導要領改訂についてのご意見などを、是非ご回答ください。下記ウェブサイトにて回答フォームに御記入の上、送信ボタンを押して下さい。4月末までのご回答を集計する予定です。お早めのご回答をお願いいたします。

▶アンケートが記載されているウェブサイトのURL

<https://www.surveymonkey.com/s/N78PWNW>

日本物理教育学会教育課程検討委員会

学会が関連する
イベントカレンダー

2013年3月26日(火)-29日(金)

日本物理学会年次大会
於 広島大学

2013年3月27日(水)-30日(土)

応用物理学会春季学術講演会
於 神奈川工科大学

2013年3月28日(木)

井戸端ポテンシャルの会@広島
於 広島大学教育学部L110教室

2013年3月31日(日)

日本物理学会物理教育シンポジウム
於 東京大学小柴ホール

2013年6月3日(月)～7月1日(月)

第30回物理研究大会発表申込

2013年6月3日(月)～7月16日(火)

第30回物理研究大会参加申込

2013年7月14日(日)-19日(金)

第12回アジア太平洋物理学会
(APPC12)
於 幕張メッセ国際会議場

2013年8月10日(土)-11日(日)

第30回物理教育研究大会
於 東北大学片平キャンパス

学会関連イベントは、以下のサ
イトでも紹介しています

<http://pesj.jp/event>

学会監訳書「科学を どう教えるか」第4刷 が3月増刷予定！

昨年6月30日に丸善出版から発刊された E.F.Redish 著“Teaching Physics with the Physics Suite”の翻訳書「科学をどう教えるか—アメリカにおける新しい物理教育の実践—」(A5 344ページ ISBN 978-4-621-08550-9 税込定価3,990円)が、発刊後わずか9ヶ月で第4刷が増刷されることになりました。お持ちでない方は最寄りの書店あるいはインターネットショップ等でお求め下さい。本書の詳細については下記をご覧ください。

http://pesj.jp/2012doc/maruzen_perbook.pdf

本書を教師の自主研修やゼミ、あるいは研修のテキストなどとしても活用して頂けることを期待しています。

中国四国支部からの お知らせ

日本物理学会年会の日程に合わせて、今年度も中国四国支部交流会を開催致します！

【交流会名】井戸端ポテンシャルの会@広島

【期日】2013年3月28日(木)

【時間】16:30～18:30 交流会

【場所】広島大学教育学部L110号室(物理実験室)
(東広島市鏡山1-1-1)

【懇親会】19:00～(JR西条駅近くを予定)

なお、第68回日本物理学会年次大会は、下記の日程で開催されます。

【期日】2013年3月26日(火)～29日(金)

【場所】広島大学

日本物理教育学会会員は協定会員ですので、日本物理学会正会員と同じ条件で領域13に参加できます。

▶第68回日本物理学会年次大会ウェブサイト
<http://www.jps.or.jp/activities/meetings/>

▶領域13のプログラム
http://w4.gakkai-web.net/jps_search/2013sp/13.html

日本物理学会 物理教育シンポジウ ムのお知らせ

日本物理学会第4回物理教育シンポジウム

「理工系学部における人材養成輩出の現状と展望 —理工系での物理教育に求められる役割とその課題—」

日本物理学会では、毎年春に物理教育シンポジウムを開催しています。第1回は「新時代の物理教育を探る」と題して、国内外での物理教育改革の例、物理教育のコース設計と質の保証など、21世紀の物理教育のあり方全般について議論しました。第2回は「高校の物理、大学の物理」と題して、高校・大学間の接続を意識しながら、物理カリキュラムの全体像を俯瞰しました。第3回は「大学の理数系教育と社会との接続」と題して、産業界で理数系学生を受け入れる側の視点から、理数系教育のあるべき姿を模索しました。

第4回では、理工学系学部における人材養成を主題とします。高校で物理を履修した学生の大半は、物理学科・応用物理学科だけでなく、電気電子や機械などの理工学系学部学科に進学しています。本シンポジウムでは、広く理工系全般における学部での人材養成の現状を俯瞰しながら、物理教育に求められる役割とその課題を再認識したいと考えています。

【期日】2013年3月31日(日) 13:00～16:30

【場所】東京大学小柴ホール(文京区本郷7-3-1)

【主催】日本物理学会物理教育委員会

【共催】日本物理教育学会

【参加費】無料

【プログラム】

13:00～13:15 「開会挨拶」

— 理工系の物理教育に関する発題 —

三沢和彦(日本物理学会 物理教育委員長)

13:15～14:00 「講演」

『香川大学工学部の教育方針とカリキュラム

— 理科教育を中心に —

中西俊介氏(香川大学工学部)

14:00～14:45 「講演」

『金沢工業大学の数理工基礎教育 — 数理工教育
研究センターの実践』

青木克比古氏（金沢工業大学数理工教育研究
センター所長）

14:45～15:00 「休憩」

15:00～16:30 「総合討論（90分）」

【事前申込み先】

電子メールまたはFAXで、①氏名、②職業、③電
子メールまたは電話番号をご記入の上、3月28日
（木）までにお申し込みください。

▶電子メール [kouza\(at\)jps.or.jp](mailto:kouza(at)jps.or.jp)
((at) を @ に置き換えて下さい)

▶FAX 03 - 3816 - 6208

当日の参加申し込みも受け付けますが、参加者数
等の把握のため、事前の申し込みをお願い致しま
す。お預かりした個人情報はシンポジウム運営にの
み使用します。

【問合せ先】日本物理学会事務局 物理教育委員会
〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-22 湯島アーバ
ンビル8階
TEL：03-3816-6201 または 上記電子メール宛

PhETシミュレー ション日本語版が利 用可能に

コロラド大学物理教育研究グループが開発した科
学・理科・数学（算数）のインタラクティブな教材
であるPhET（Physics Education Technology）シ
ミュレーション（平成25年3月1日現在、124ユニッ
ト）が日本語で利用可能になりました。シミュレー
ションは物理教育研究のこれまでの研究成果とグ
ループ独自の試験調査を組み合わせで作成され、学
習者が基本的な科学概念を楽しみながら学べるよう
に構成されています。使い方は簡単で、FlashとJava
がインストールされていれば、標準のウェブブラウ
ザで実行できます。下記のURLから無料でダウン
ロードして、あるいはオンラインでご利用くださ
い。このシミュレーションを授業で効果的に活用す
るための講習会も企画されています。

▶日本語版PhETシミュレーションURL：
<http://phet.colorado.edu/ja/>

▶問い合わせ先：石本美智
[ishimoto.michi\(at\)kochi-tech.ac.jp](mailto:ishimoto.michi(at)kochi-tech.ac.jp)
(at) は@で置き換えてください。

【事務局より】皆様にお届けいたしました会誌に、会費納入のご案内が記載されております。会費は前納をお願いして
おりますので、3月末までに納入していただきますようお願いいたします。いよいよ新学期が近づいて参りました。教育
研究を新年度の授業実践に少しでも生かして行き
たいものです。ニューズレターで広報したい行事
などありましたら、3月30日までに
[news\(at\)pesj.jp](mailto:news(at)pesj.jp) ((at)は@で置き換えてくださ
い)へご連絡ください。編集委員会で掲載の適否
を審議し、記述を編集いたします。

発 行：日本物理教育学会会長 高橋憲明
編 集：日本物理教育学会ニューズレター編集委員会
発行日：2013年3月17日